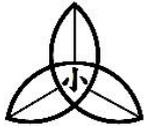


あこう通信



「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～「いい顔 いい声 いい心」～

発行：令和6年6月11日（水）NO.11 文責：副校長 津田 幸一



学校 HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html>（2次元コードからどうぞ）

心を見つめる教育週間

さて、6月15日（日）～21日（土）は、本校の「心を見つめる教育週間」です。

以下の目的と効果を達成するために、学校全体で様々な取り組みが行われる期間です。道徳の授業をはじめ、特別活動や学校行事などを通して、子供たちの心を育むための集中的な教育活動が展開されます。

期間中は、校長講話をはじめ、道徳授業参観、学級懇談会等を計画しております。ぜひ、ご来校いただき、学校の様子をご参観されてください。

<目的>

1. 命を大切にする心の育成
生きることを喜び、自他を尊重する心を育む。
2. 豊かな心の育成:
思いやり、感謝、感動する心など、豊かな人間性を育む。
3. 規範意識の育成:
社会のルールやマナーを守り、責任ある行動ができるようになる。
4. いじめ防止
いじめの未然防止と早期発見、いじめられている児童生徒の救済。
5. 自己肯定感の育成:
自分の良さや可能性を認め、自信を持って生きていく力を育む。
6. コミュニケーション能力の向上:
他者との良好な人間関係を築くための力を育む。
7. 問題解決能力の育成:
自ら課題を見つけ、考え、判断し、行動する力を育む。
8. 長崎の心を受け継ぐ
長崎の歴史や文化、平和への願いを理解し、次世代へと繋ぐ。

<期待される効果>

1. 児童生徒一人ひとりが自分の心と向き合い、自己理解を深める。
2. 他者の気持ちを理解し、共感する力を高める。
3. 生命の尊さを再確認し、他者を大切にする心を育む。
4. いじめのない、安心して過ごせる学校づくりに繋がる。
5. 社会の一員としての自覚を高め、より良い人間関係を築く基礎となる。
6. 規範意識が向上し、社会性を身につける。

うれしいお手紙 ～いい心～

5月中頃に、うれしいお手紙が、学校に届きました。なかには、本校の児童の善行が記されており、職員一同、心がほっこりとなりました。

概要は下の囲みに記載していますが、学校での学びを生活の中で生かす行動や人の役に立ちたいという気持ち、素晴らしいですね。私たち人間が社会の中で生きていく上で、とても大切な心の動きだと思います。

どのような形であれ、「人の役に立ちたい」という気持ちは、私たち自身の幸福感にも繋がることの研究でも示されています。誰かの役に立たと感じることで、自己肯定感が高まり、生きがいを見出すことができるからです。

このような自発的な行動が全校に広がることを期待しています。

以前から、みなと坂の公園のお菓子ごみの散乱について嫌な思いをしていました。ほかのことなら、よそのお子さんであっても注意はできるのですが、誰のものかわからないごみに関してはどうしたら良いかと思っていました。我が子と一緒に拾うことも考えていましたが、それでは子供の自発的な行動にはならないと思っていたところです。

そのようなことを考えていた矢先に、なんと、小櫛川の低学年の子供たちが数人で、ごみを拾っている光景に出会いました。

その子たちに声をかけると、「今学校で、『海のごみ問題』について調べています。調べている中で、この公園のごみのことも気になってきて拾っています。」という答えが返ってきました。

この行動に感動して、「私も気になっていたんだよ。拾ってくれていることに感動しているよ！ありがとう！」と伝えました。

その後も、ずっとその子たちは、ごみ集めを続けていました。するとその様子に気づいた、1年生が手伝っていました。そして、「今度から公園に来るときは、ごみ袋をもって来よう」とか、「ごみを持ち帰ろうと呼びかけるポスターを作ってみよう」とか言い合っていました。

みんなの公園をみんなで大切に使うなど、道徳的、倫理的にも当たり前の小さいことかもしれませんが、行動化できていることはとても素晴らしいことです。

小さな子供たちが、大きな変化につながっていくことかもしれないと思い、お手紙を書きました。この子供たちの行動に、日々悶々としていた気持ちが救われた気がします。

この善行については、北村校長が、給食放送で全校に紹介しております。

ぜひ、ご家庭でも話題とされてください。